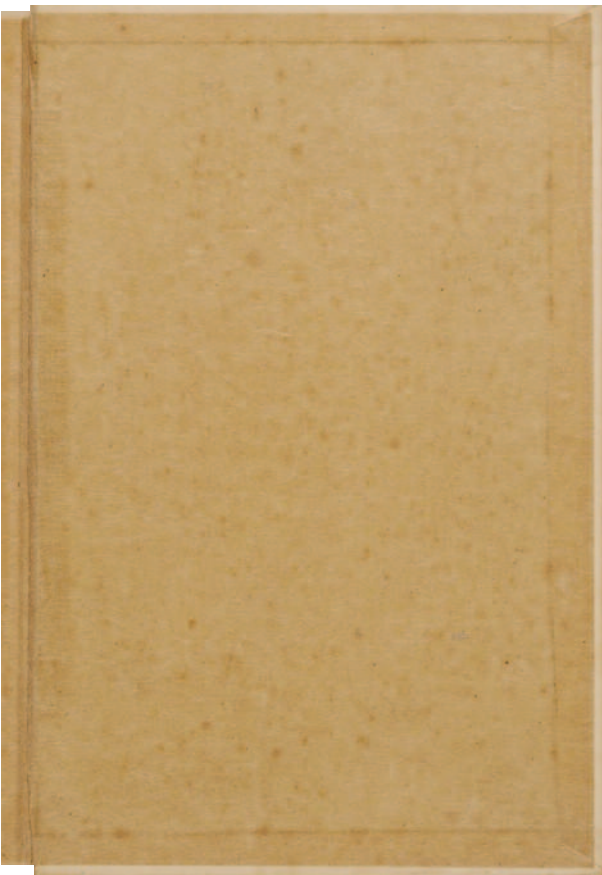
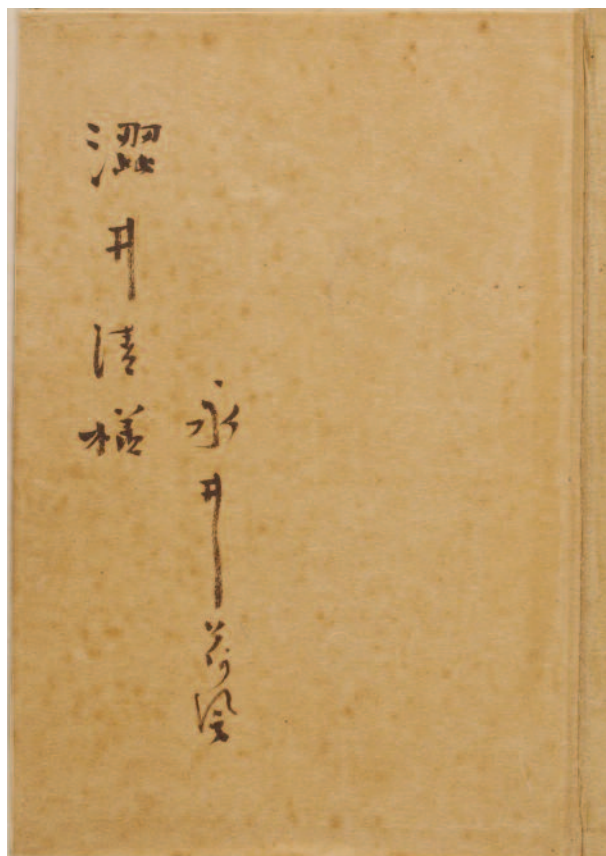




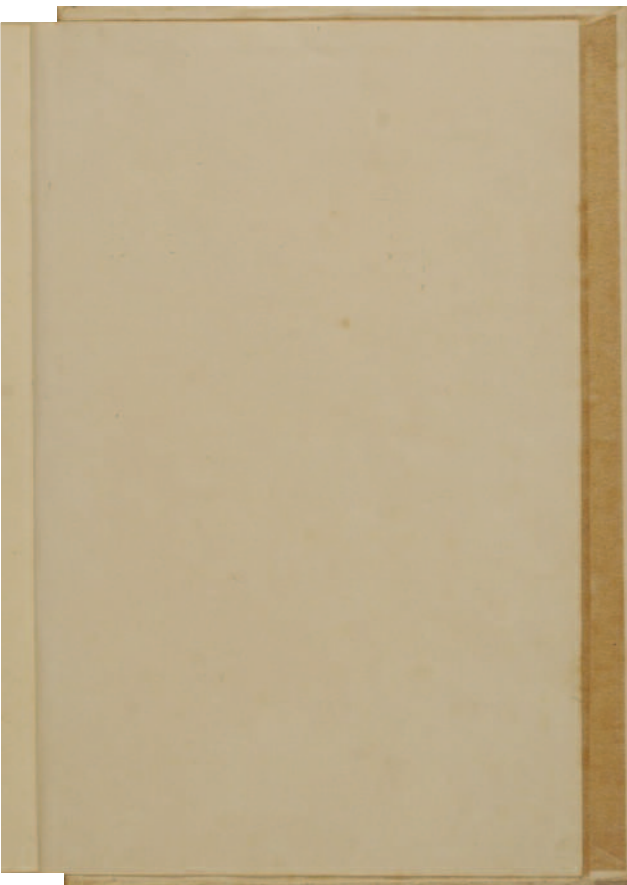
34. 小説 水爆東綺譚 (私家版・澁井清宛獻呈署名入)

三四 小澤東綺譚（私家版・澁井清宛献呈署名入）





三四 小澤東綺譚（私家版・澁井清宛猷呈署名入）





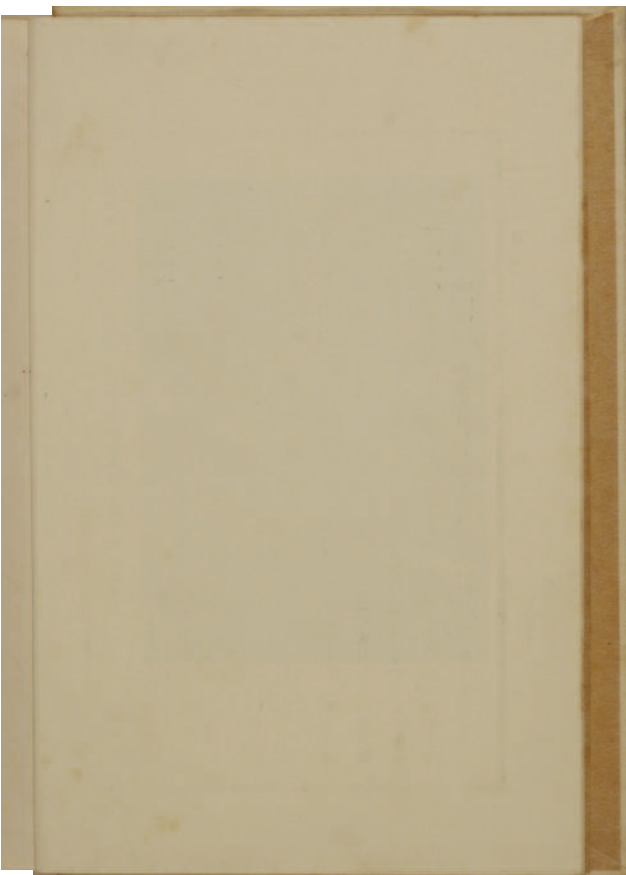
三四 小澤東綺譚（私家版・澁井清宛猷呈署名入）





里の名か人のとひなばしらつゆの玉の井深きそこといはまし

三四 說小澤東綺譚（私家版・澁井清宛獻呈署名入）



澤 東 綺 譚

荷 風 散 人

一

わたくしは殆ど活動寫眞を見に行つたことがない。  
 おぼろ氣な記憶をたぐれば、少年のころ——明治二十四五年頃でもあらう。神  
 田錦町に在つた貸席錦輝館で、サンフランシスコ市街の光景を寫したものを見た  
 ことがあつた。活動寫眞といふ言葉のできたのも恐らくはその時分からであら  
 う。それから四十餘年を過ぎた今日では、活動といふ語は既にすたれて他のもの  
 に代られてゐるらしいが、初めて耳にしたものゝ方が口馴れて言ひやすいから、

三四 小澤東綺譚（私家版・澁井清宛猷呈署名入）

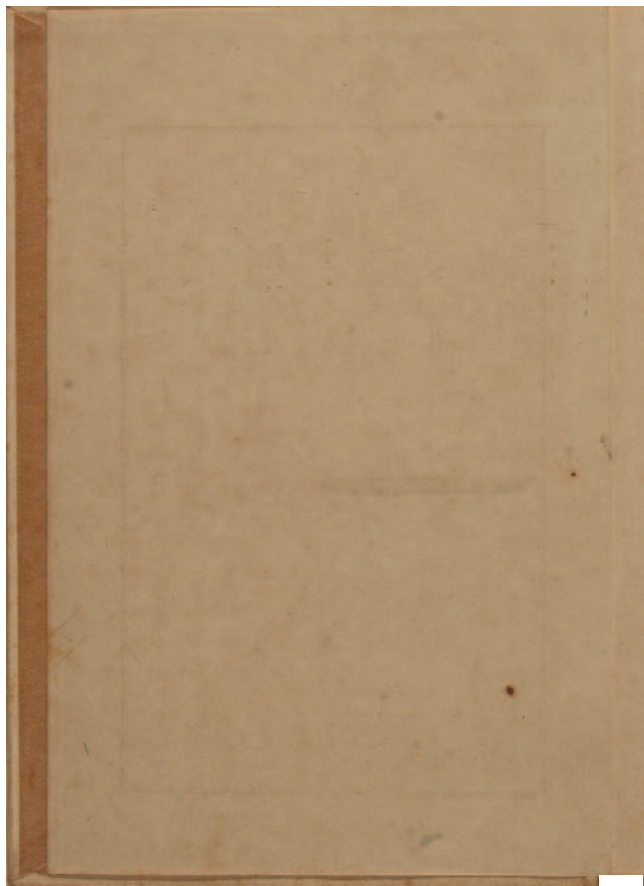
澤東綺譚

一七八

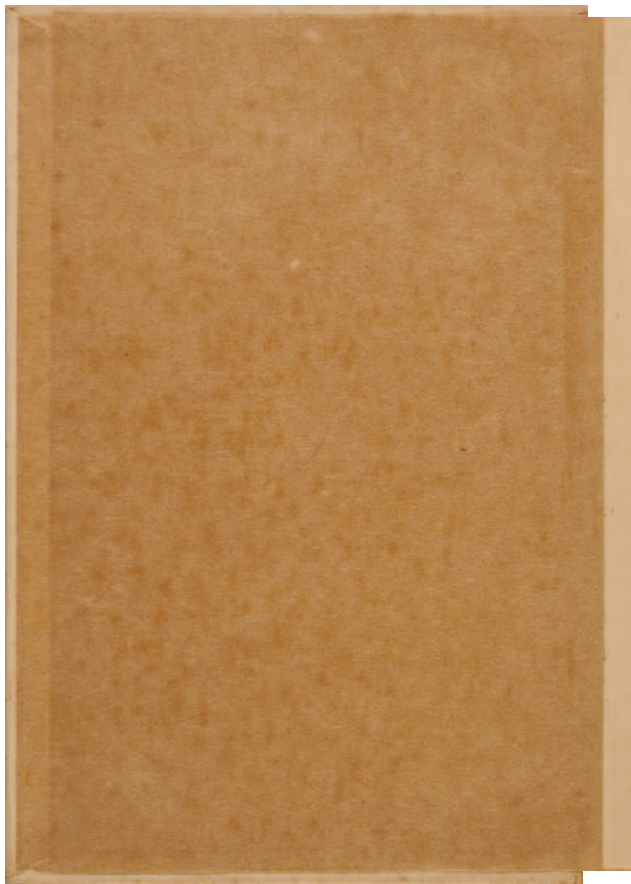
残りもなく過ぎ去つてしまつたのだと思ふと、寝苦しかつた残暑の夜の夢も涼しい月の夜に眺めた景色も、何やら遠いむかしの事であつたやうな氣がして来る。年々見るところの景物に變りはない。年々變らない景物に對して、心に思ふところの感懐も亦變りはないのである。花の散るが如く、葉の落るが如く、わたくしには親しかつた彼の人々は一人一人相ついで逝つてしまつた。わたくしも亦彼の人と同じやうに、その後を追ふべき時の既に甚しくおそくない事を知つてゐる。晴れわたつた今日の天氣に、わたくしはかの人々の墓を掃ひに行かう。落葉はわたくしの庭と同じやうに、かの人々の墓をも埋めつくしてゐるのであらう。

（昭和四年十一月脱稿）

澤東綺譚 終











35.永井荷風外遊時代ノ繪葉書



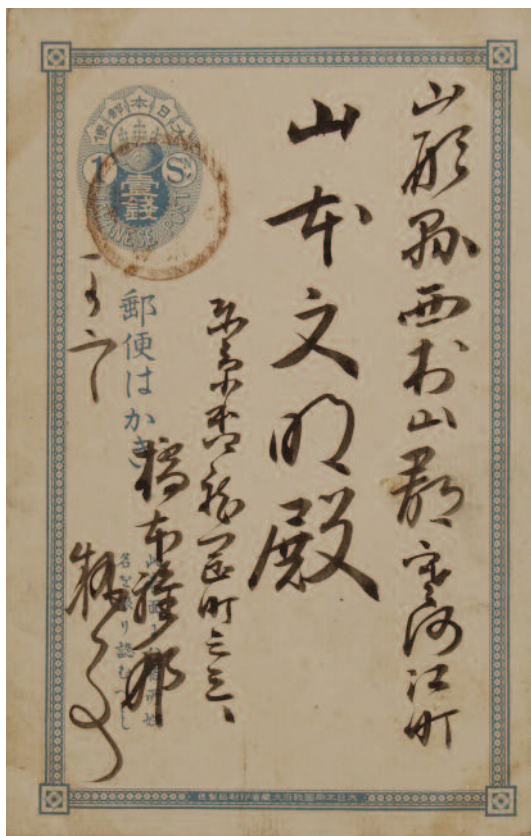
35.永井荷風外遊時代ノ繪葉書



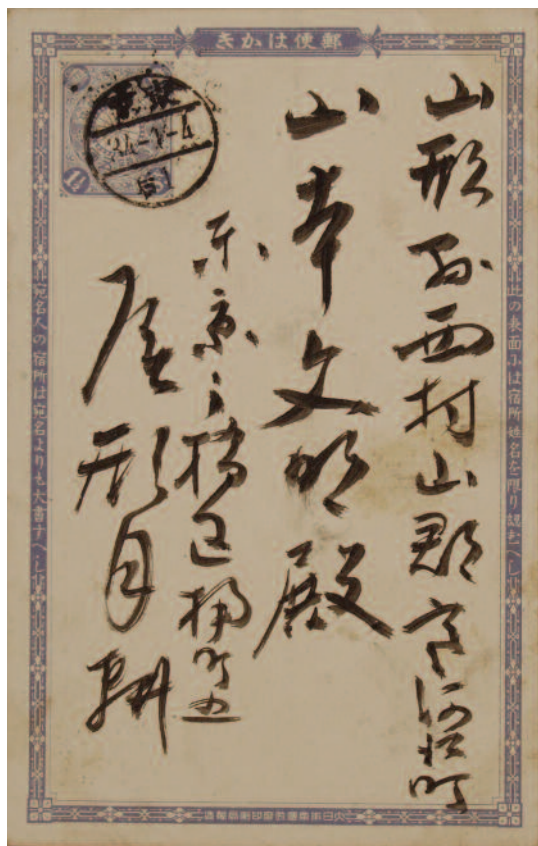




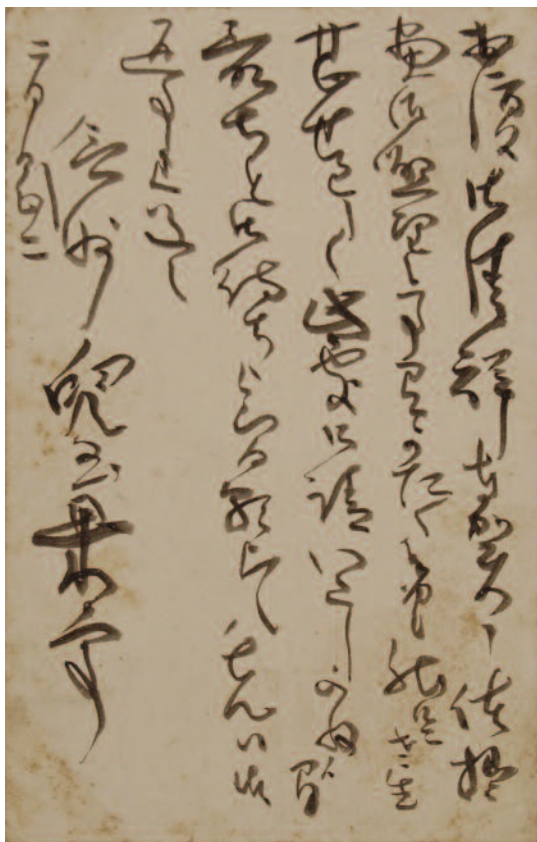
35.永井荷風外遊時代ノ繪葉書



21.山本文明宛近代日本画家葉書



21. 山本文明宛近代日本画家葉書



21.山本文明宛近代日本画家葉書



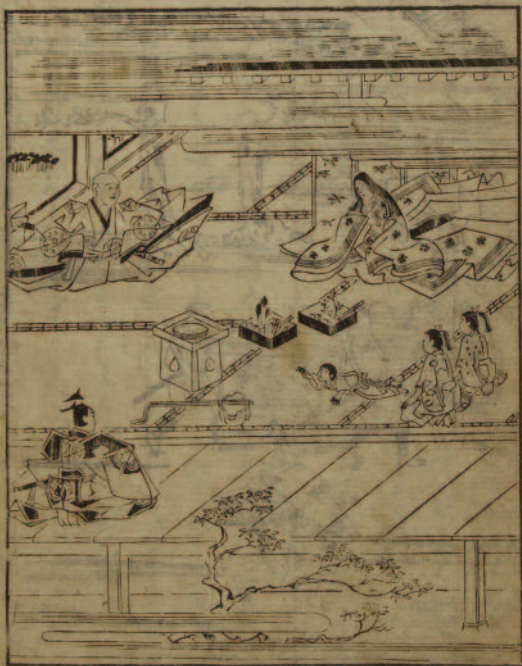


20. 古代肉筆美人画浮世繪幅



1.新板義經記（寛文四年刊）

一  
新義經記  
(寛文四年刊)



ねとくれたるおとしめふんとやとくはくろさるるを  
 尸の目か一の義人なり。九條院のまじのくぬねに  
 まゝくれは落中よりまゝくろんひまにかりせんと千  
 へあされても中よりまゝ百人まゝひ百人の中より十人  
 丁より十人の中より五人まゝひ百人の中より十人  
 内より十人のひまにまゝなり。是より十人まゝせ  
 れはしくろ。落威いんとくろれ。我よりまゝにまゝくろ  
 まゝのせよりまゝの人のまゝのひまにまゝくろ。まゝにま  
 られる。二人のひまにまゝなり。やとれまゝくろ。  
 まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
 目くんとまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

一  
新義經記（寛文四年刊）



義經平家討ふより後事

小ざりしあゝ永三年より上へて平家とむひがう。一若  
 八幡だんの浦和の悪といひ。あゝかき力とてうゝ。流し  
 平家と責めあがて。大ね軍兵の内大臣宗盛父子と  
 生捕。三十人ぐそくして上へ。院内に見え。一へく  
 ねえ。元暦元年。小検校遂使み位の尉。かりけ。おま  
 友。じ。より父子とぐそくして。あゝ。越。は。付。活。ひ。時。挽  
 系。く。つ。つ。判。友。あ。こ。と。え。長。友。父。子。ぐ。そ。く。して。あゝ。越  
 子。は。せ。活。ひ。く。は。お。ね。お。い。く。ね。こ。う。い。は。判。友。あ。い  
 男。は。お。と。う。と。あ。と。え。る。お。ま。う。て。は。と。は。い。ふ  
 と。一。よ。二。若。の。い。せ。ん。は。あ。の。こ。は。た。う。の。あ。り。ん。三。位。の

一  
新義經記（寛文四年刊）

[illegible]

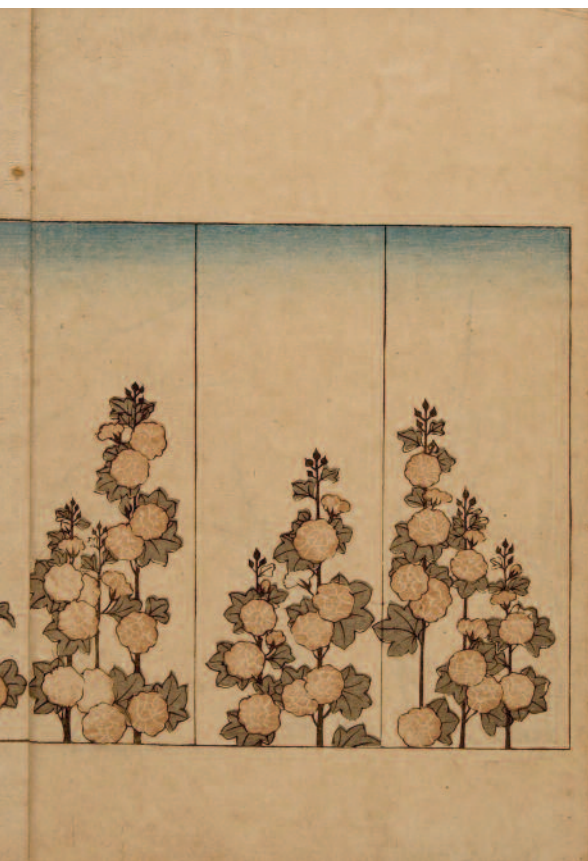


四 白狐傳 (魚屋北溪画・享和四年刊)

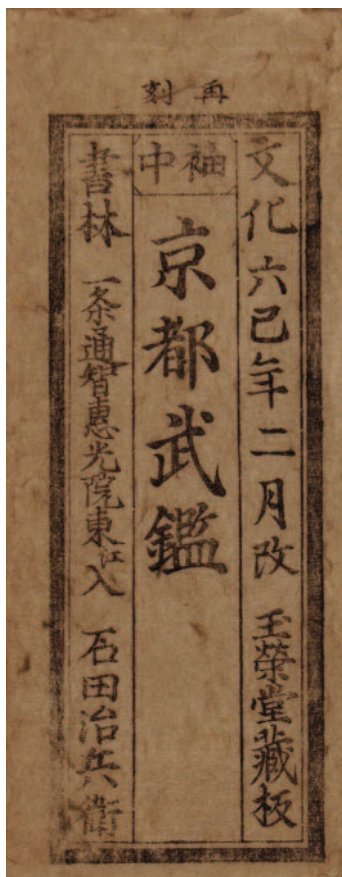




一八 乾山遺墨（酒井抱一編・高島藍泉舊藏本）





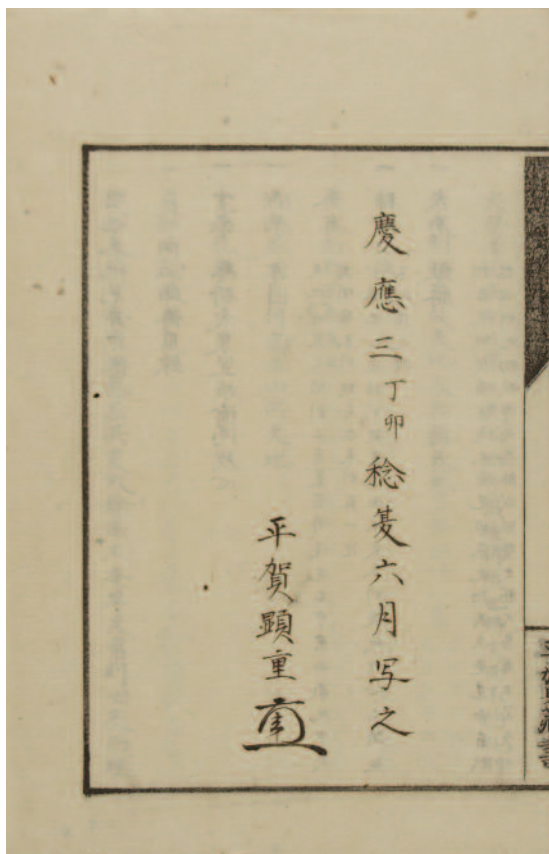


44. 袖中京都武鑑

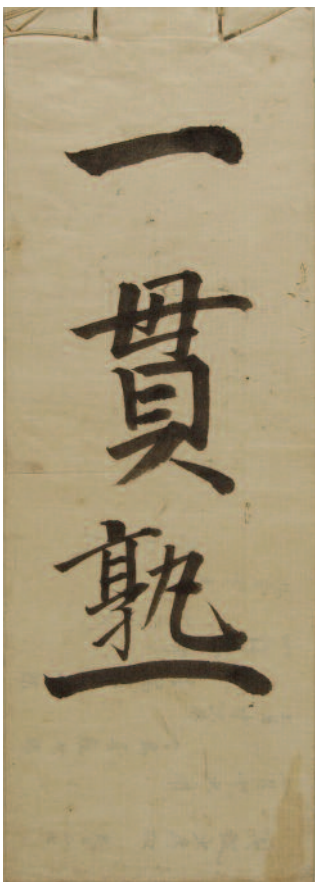
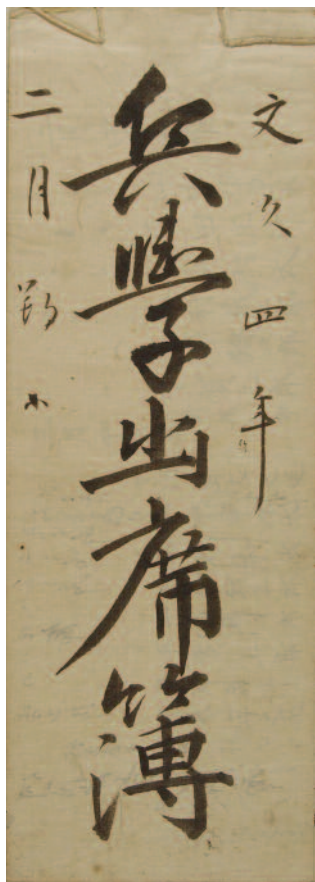


*The Chatahoochee*

New York, T. Agnew & S.

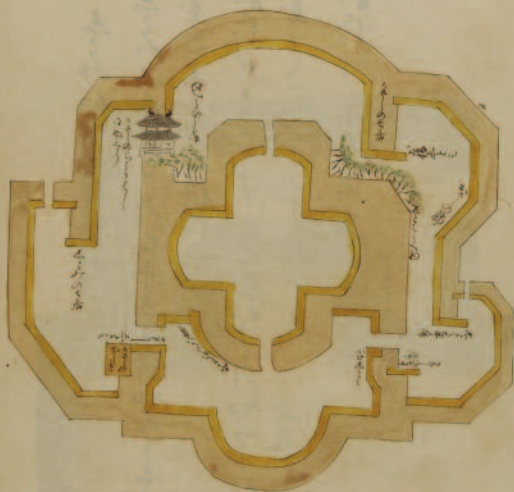


36.平賀顯重自筆兵法文書



36.平賀顯重自筆兵法文書

三六 平賀顯重自筆兵法文書







58.江崎禮二製寫真（浅草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（浅草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（浅草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



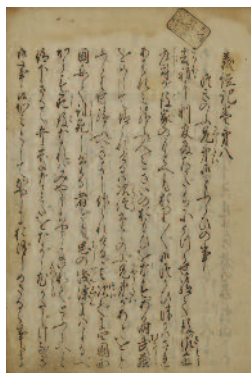
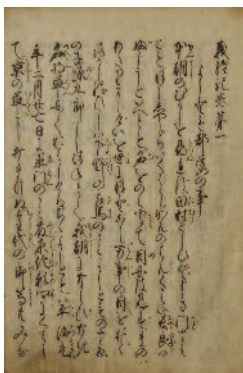
58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）

新義經記 八卷

寛文四甲辰仲冬吉旦 大八册 二七〇、〇〇〇

寺町誓願寺前／西村又左衛門板行。第八卷ノミ題簽欠。第一卷ノ插繪一丁ノ下方少シ欠損アリ。第五卷ノ插繪ノ下隅虫損ニヨリ僅カニ欠損、前後數丁ニ僅カ欠字アリ。第七卷ノ插繪一／三ホド欠損アリ。墨ツキ。

二五ノ三二頁参照









二  
正徳三年年代記新繪抄  
―全五卷ノ内(卷一・二・五)

題簽擦レ 正徳三年刊  
第五卷末尾虫損

中三冊 一六、二〇〇



三 淡海縣物語 卷一・四（全五卷ノ内） 籤 文化五年刊 半二冊 二一、六〇〇  
 | 内題「近江縣物語」 六樹園飯盛自序編



四 白狐傳

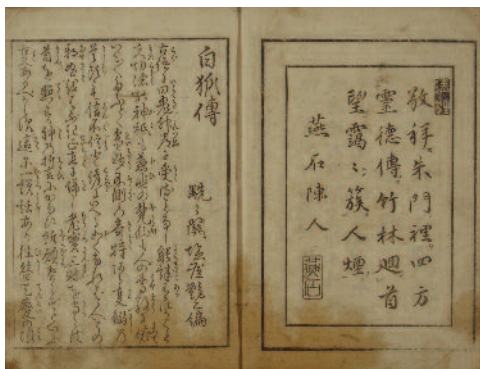
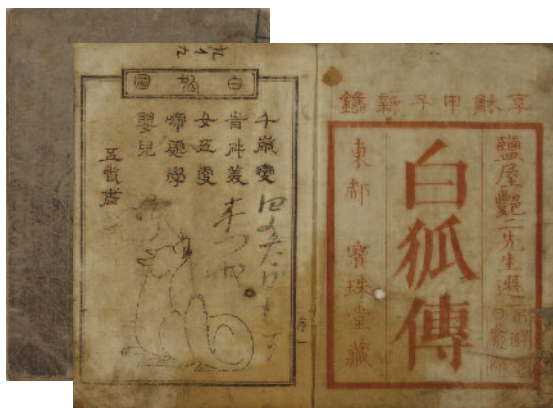
— 魚屋北溪画

簽欠 鹽屋艷二先生選  
東都／寶珠堂藏 染ミ

享和四年刊

中一冊 五四、〇〇〇

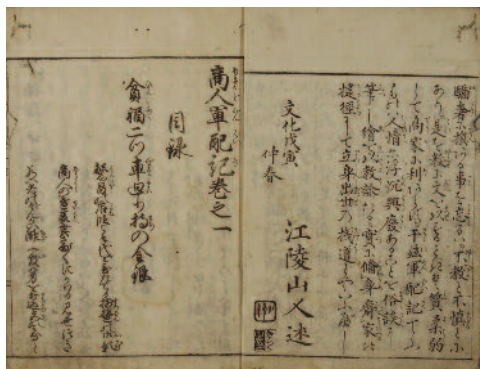
三二・三三頁參照

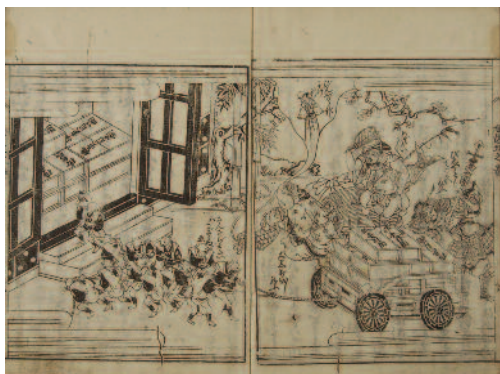
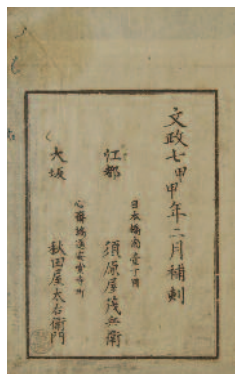
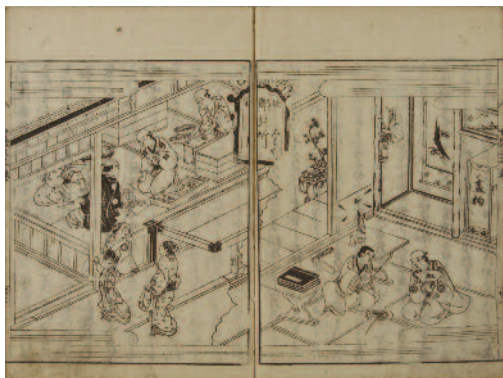




五

― 早合世商人軍配記 五卷 簽 文政七年二月補刻 大五冊 八六、四〇〇  
 ― 江陵山人述 卷一ノ巻首ノ柱ニ少虫



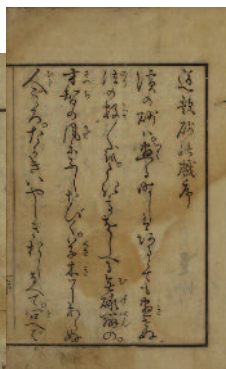


六 梅柳魁曾我・紋盡五人男 合綴  
 一 堺町沢村屋利兵衛正



中村座 文政八年 中二册 三、四〇〇

七 道歌砂の戯 簽欠 文政六年／是佛序 天保四年冬刊 中一冊 二七、〇〇〇  
 一 京寺町三条下ル／めとぎや宗八 裏紙古改裝 少染ミ墨ツキ



八

三世相郎満八算

三卷合冊

南仙笑楚満人

寛政九刊

中一冊

三三、四〇〇

―黄表紙 版心「三せさう」

少虫 古改装

歌川豊國画

和泉屋市兵衛版

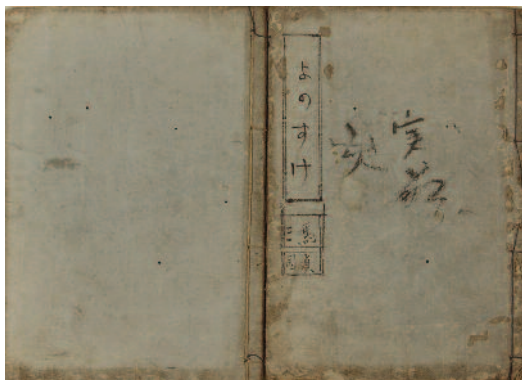




九 却説浮世之助話 前後編各三卷 簽欠 文化七年新梓 中二冊 五四、〇〇〇

―土佐節の二河白道豊後節の高尾懺悔 江戸／式亭三馬編

葛飾／歌川國貞画 田所町／つるや金助板 後編焦ゲ小穴有り





一〇 和合神所縁赤繩 前後編（五卷）文化一一刊

― あづま与五郎 式亭三馬作 歌川美丸画 錦森堂梓 手擦レ破損アリ  
前編裏紙欠 後編末欠丁



中二册 一六、二〇〇

二

男達東鑑

全部五卷ノ内三卷（上帙）

文政四年新販

中一冊 二七、〇〇〇

作者ノ向榮樓欣堂

画工ノ一圓齋國丸

春案軒ノ西宮新六版

裏紙下方少欠損



二 人形筆五色絲藏 上・下卷（中巻欠） 文政九年春序刊

中二冊 二七、〇〇〇

― 日本駄右衛門有馬の於藤 柳亭種彦作 歌川國貞画 山本榮久堂鐫  
裏紙欠



三 義士銘々傳 上下巻 醫の寿々成誌  
 | 一 猛齋芳虎画  
 天保一六年序刊 中二册 二七、〇〇〇



一四 かしがち山 堤吉兵エ編板 明治一九年八月二三日刊 極小二冊 三、四〇〇



一五 小學女禮式 編輯出版人／堤吉兵衛 明治廿年二月刊 極小二冊 二七、〇〇〇



一六 おとぎばなし大博覧會美術館  
一七 は教訓猫の忠義

合羽摺 森桂園 金港堂  
井上市松發行

明 明  
29 36

四六判 一六、二〇〇  
文庫判 一六、二〇〇



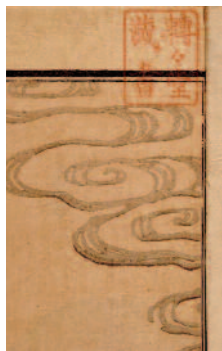
一八 乾山遺墨

簽 尾形乾山画 酒井抱一編 無刊記 半一冊 一〇八、〇〇〇

―江戸浅草／須原屋伊八／山崎屋清七 江戸版

「轉々堂／藏書」朱印。三世柳亭種彦ヲ名乗ツタ明治初期ノ小説家高島藍泉ノ舊藏本。早印良摺デ原裝原題簽附傳本ダガ暫ク海外デ傳存シテイタラシク元表紙ヲ備エタママ原裝釘ノ上ニ美シイ古裂ヲ用イタ表紙ヲ被セテイル。

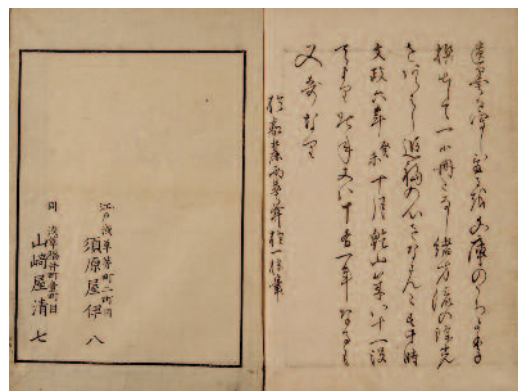
三四、三五頁參照











一九

光琳百圖 下卷

簽

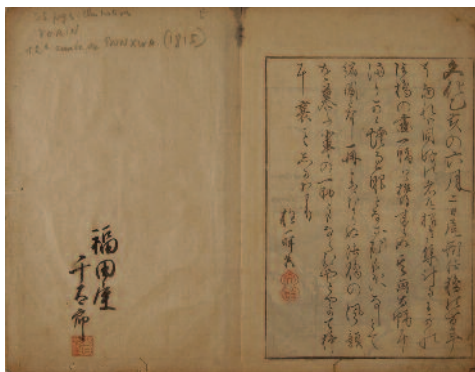
酒井抱一編跋

文化一二年刊

大二冊 一六、二〇〇

― 初板傳本ハ意外ニ希。裏紙欠。海外カラ里歸リ本。





二〇 古代肉筆美人画浮世繪幅

― 近世中期寫 無落款 二三×二九糎 軸長九六糎

一幅 八六、四〇〇

二四頁參照





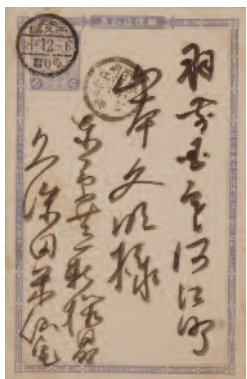
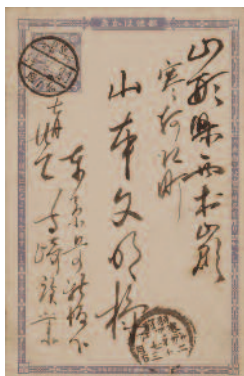
二

山本文明宛近代日本画家葉書

明治前期ヨリ昭和初期マデニ活躍シタ日本ヲ代表スル画人ラニヨル葉書集。全テ山形縣西村山町寒河江ノ山本文明宛。

尾形月耕・久保田米僊・荒木十畝・寺崎廣業・兒玉果亭・松本楓湖・根本樵谷・熊谷直彦・今尾景年・野口小蘋・川端玉章・橋本雅邦・片倉白麟・村瀬玉田・戸田玉秀・眞野曉亭・森川曾文・望月金鳳・新井白雲・藤原白龍他。内賀状ガ七枚デ他ハ比較的長文葉書ナリ。二〇〇三頁参照

三〇枚一括 一六二、〇〇〇





三  
聖母子像・イエスキリスト像  
― 古画油彩 キャンパス地マクリ

八二×五九

二枚 六四、八〇〇



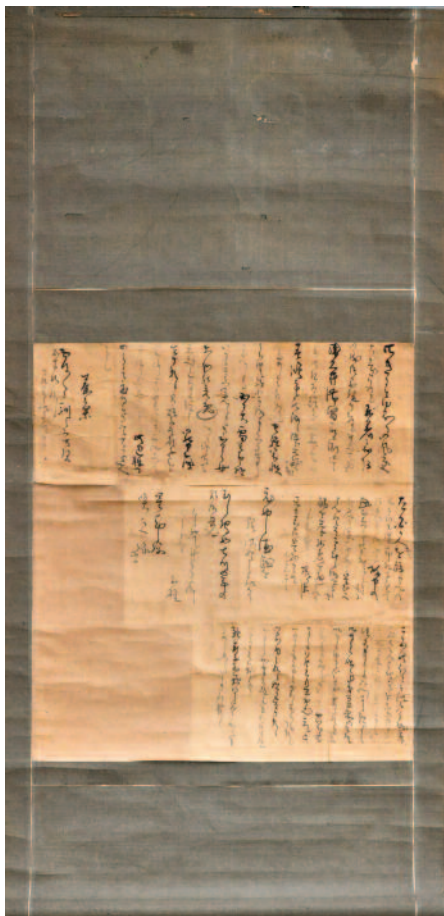


二三

加舎白雄書簡幅  
| 四六×四二糎

軸長一〇〇糎

一幅 五四、〇〇〇





二四

小簀菴確嶺書簡幅

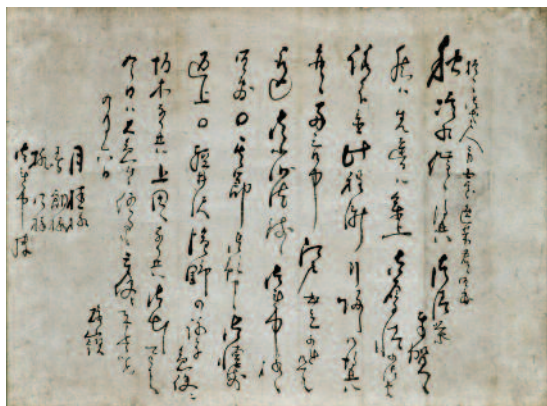
一 輕井澤、上田

二七 × 三六糎

軸長一一六糎

一幅

三三、四〇〇



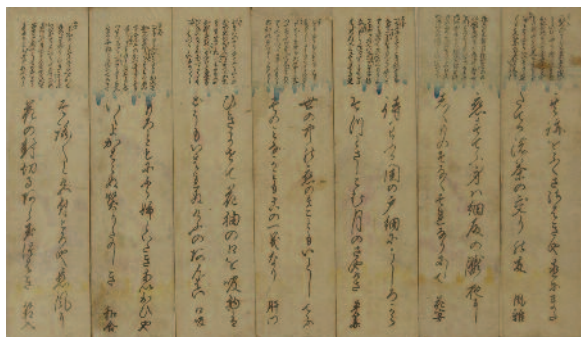
二五 艶狂歌短冊（仮題）

— 小短冊二木版春画ヲ描キ裏ニ狂歌ヲ添エタ珍奇ナ艶書  
一枚ノ大キサ一七・三×四・二糎



天保弘化頃

七枚 三三、四〇〇



二六

入通俗民權百家傳 三卷

箸 薔薇樓藏梓

明11

半三冊

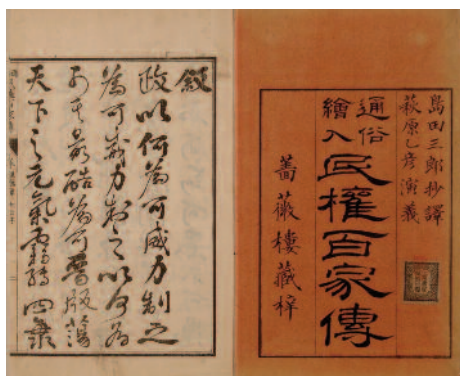
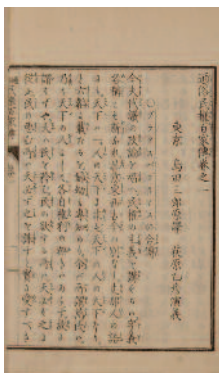
五四、〇〇〇

島田三郎抄譯 萩原乙彦演義

後藤象二郎序

肥塚流序

出版人／稻田佐吉





二七 新聞記者列傳 二篇

佐々木秀二郎著

明 13

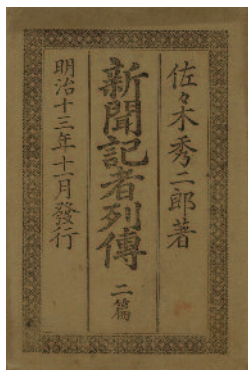
四六判 一六、二〇〇

二八 一碌々山人横田房吉識  
實話今昔東都記錄

岸田吟香君所贈書東寫  
銅版摺 黒川柳右衛門著刊

明 30

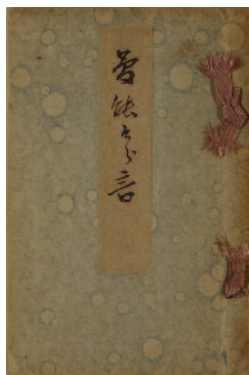
四六判 一六、二〇〇



二九 逸事 李鴻章  
三〇 夢能そら言

初版 早田玄洞著 大學館 明34  
鷗雨菴沙彌志るす 無刊 大正頃刊

四六判 五、四〇〇  
四六判 一〇、八〇〇



三

通夜物語

再版

泉鏡花著

春陽堂

明34

菊判

二七、〇〇〇

三二

風流京人形

再版

紅葉山人著

駸々堂發行

明30

菊判

一〇、八〇〇

口繪木版彩

背上部少剥落



三三

四谷恠談

初版

春錦亭柳櫻口演

一二三館

明29

菊判

三七、八〇〇

— 酒井昇造速記

口繪木版彩

桂舟画

序文少破レ(欠字無)

